東京計器株式会社

証券コード 7721

130th since 1896

TOKYO KEIKI

2027年3月期　第2四半期

決算説明資料

2026年11月6日

上期は、船舶港湾機器事業の好調が寄与し、防衛・通信機器事業の4Q偏重をカバーし増収
通期業績予想は、好調な船舶港湾機器事業の事業動向を反映し、上方修正

2027年3月期　第2四半期

船舶港湾機器事業が好調を継続、
2期連続の中間期での黒字達成

売上高	営業利益
25,284百万円	647百万円
前年同期比	前年同期比
+859百万円 (+3.5%)	▲75百万円 (▲10.4%)

受注残高

受注残高は
過去最高を更新

64,883百万円

前年同期比
+2, 998百万円
(+4.8%)

2027年3月期　通期見通し

前回(1Q)公表した業績予想を**上方修正**
期初見通しどおり売上高、営業利益とも
過去最高を更新する見込み

売上高	営業利益
70,600百万円	7,300百万円
前回予想比	前回予想比
+600百万円 (+0.9%)	+300百万円 (+4.3%)

外部環境リスクの状況

中東情勢他、P.9に記載
現時点の想定を計画に織り込み

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

1. 2027年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2027年3月期 見通し
3. セグメント別 詳細情報
4. ご参考資料
   - トピックス
   - 業績推移
   - 事業紹介

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

売上高・損益

単位:百万円	2026年 3月期 2Q	2027年 3月期 2Q	増減額	増減率
売上高	24,425	25,284	+859	+3.5%
営業利益	722	647	▲75	▲10.4%
経常利益	825	821	▲4	▲0.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	839	945	+106	+12.6%

為替レート（円/USD）	145.60	160.94

- 売上高は、船舶港湾機器事業が好調に推移し、前年同期比で**増収**。
- 営業利益は、船舶港湾機器事業が好調に推移したものの、防衛事業が例年に増して4Q偏重のため、前年同期比で**減益**。**下期偏重の事業特性ながら2期連続の中間期での黒字達成。**
- 中間純利益は、補助金収入等による営業外収益の増加と政策保有株式の売却により**増益**。

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別売上高・損益

単位：百万円

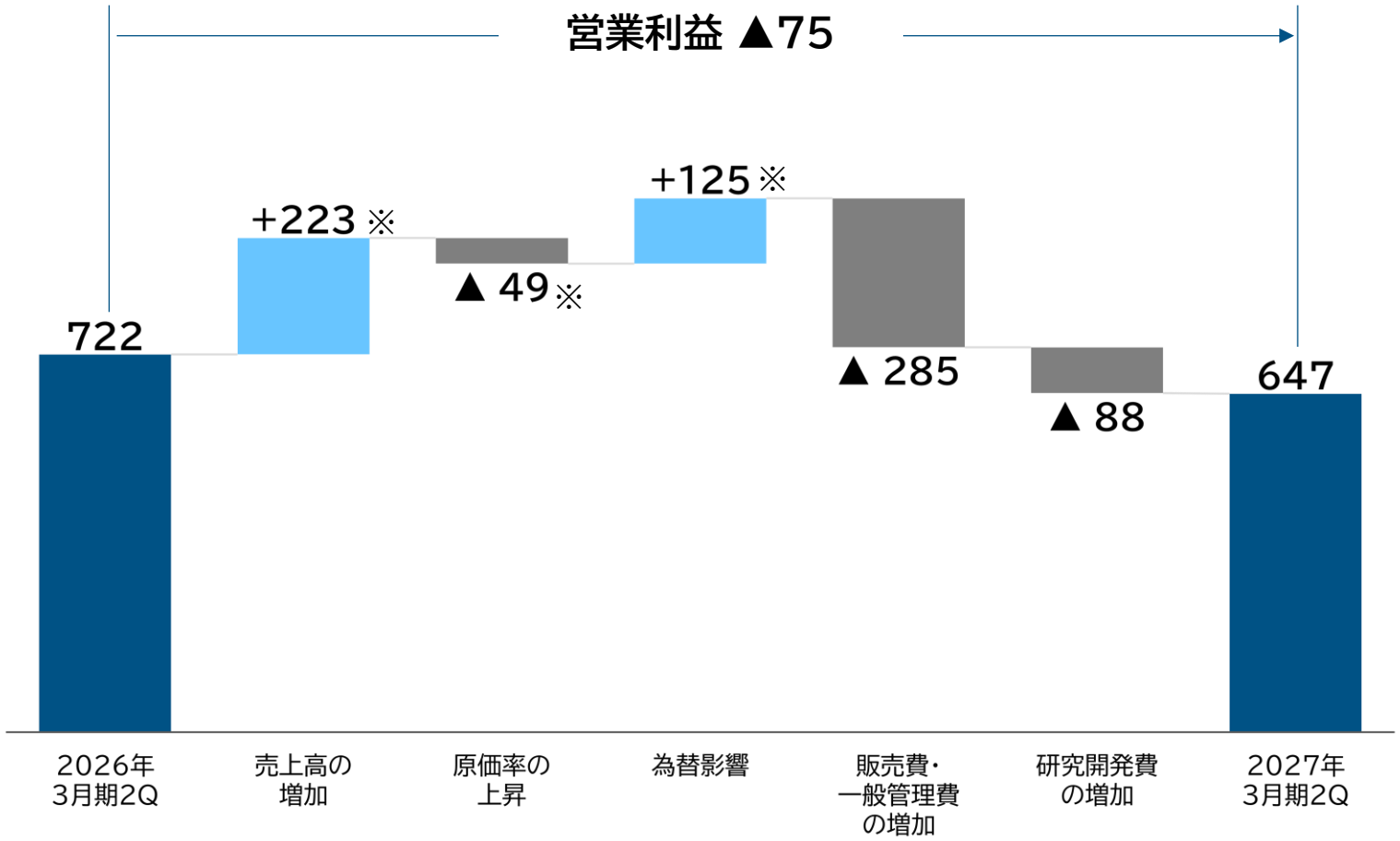
		2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	増減額	増減率
船舶港湾機器	売上高	6,265	7,693	+1,427	+22.8%
	営業利益	672	1,036	+365	+54.3%
油空圧機器	売上高	5,587	5,620	+33	+0.6%
	営業利益	▲10	115	+125	–
流体機器	売上高	1,753	1,734	▲18	▲1.1%
	営業利益	▲157	▲195	▲38	–
防衛・通信機器	売上高	9,383	8,685	▲697	▲7.4%
	営業利益	318	▲66	▲384	–
その他	売上高	1,437	1,551	+114	+7.9%
	営業利益	▲61	▲193	▲132	–
合計	売上高	24,425	25,284	+859	+3.5%
	営業利益	722	647	▲75	▲10.4%

（セグメントの売上高、営業利益は調整前）

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

営業利益増減

単位:百万円　※推計値



- 売上高の増加
  主に船舶港湾機器事業の増収により増加。
- 為替影響
  前年同期145.60円/USDに対し、
  160.94円/USDと円安で推移し増加。
- 販売費・一般管理費の増加
  販売費の増加及び人件費の増加。

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

受注の状況

- 受注高は、防衛・通信機器事業で下期への繰り延べ案件があったものの、それ以外の事業の増加でカバーし、全体では増加。
- 受注残高は、防衛・通信機器事業が減少したものの、それ以外の事業が増加し、**過去最高を更新**。

単位:百万円

	受注高				受注残高			
	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	増減額	増減率	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	増減額	増減率
船舶港湾機器	7,215	9,022	+1,808	+25.1%	6,654	8,639	+1,985	+29.8%
油空圧機器	5,748	6,184	+436	+7.6%	3,551	4,125	+575	+16.2%
流体機器	2,960	3,280	+320	+10.8%	3,124	3,843	+719	+23.0%
防衛・通信機器	11,141	8,755	▲2,385	▲21.4%	45,003	43,305	▲1,698	▲3.8%
その他	2,853	3,047	+194	+6.8%	3,553	4,970	+1,418	+39.9%
合計	29,916	30,289	+373	+1.2%	61,885	64,883	+2,998	+4.8%

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

1. 2027年3月期 第2四半期 決算概要

2. 2027年3月期　見通し

3. セグメント別　詳細情報

4. ご参考資料

- トピックス
- 業績推移
- 事業紹介

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

外部環境リスクの状況

	発生事象		対象事業	影響・対応	影響度
中東情勢	緊迫化	直接的影響	船舶港湾	• 輸送手段の混乱から現地代理店への納入遅れ。 • 海上輸送の確保に加え、必要により空輸にて対応し売上確保。	低
		間接的影響	全事業	• 石油由来の化学製品の高騰及び入手遅れ。（顧客の工程遅れによる影響を含む） • 販売価格の適正化に努め利益確保。	中
中国の輸出規制	レアアースの輸出規制強化		全事業	• 輸出規制強化が更に長期化した場合、生産への影響が懸念される。 • 部品手配の前倒し及びまとめ買い等による部品確保や、調達先変更含め生産体制を強化。	中
AI需要の急増	半導体の不足及び価格上昇		全事業	• AI需要の急増に起因し、半導体関連部品の入手遅れや価格上昇。 • 部品手配の前倒しやまとめ買い等による部品確保、ならびに販売価格の適正化に努め、納期遵守と利益確保。	中
為替相場	急激な為替変動		船舶港湾 油空圧	• 第3四半期以降の計画値は159円/USDを据え置き。 円安に振れた場合、船舶港湾：外貨建て販売（＋）、油空圧：海外からの購入部品（－）	中

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

2027年3月期 業績予想

単位:百万円

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想		前期比		前回(1Q)予想比	
		前回(1Q)	今回(2Q)	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	61,186	70,000	70,600	+9,414	+15.4%	+600	+0.9%
営業利益	5,362	7,000	7,300	+1,938	+36.1%	+300	+4.3%
経常利益	5,492	7,070	7,340	+1,848	+33.6%	+270	+3.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,005	5,400	5,610	+1,605	+40.1%	+210	+3.9%
売上高営業利益率	8.8%	10.0%	10.3%	+1.6pt		+0.3pt	

- 好調な船舶港湾機器事業の事業動向を反映し、前回(1Q)公表した業績予想を**上方修正**。
- 為替レート
  3Q以降予想レート(対USD)は159.00円に据え置き。

為替レートおよび為替感応度

単位:百万円

通貨	為替レート			感応度(下期)	
	2026年3月期 実績	2027年3月期		基準	営業利益
		上期実績	下期予想		
USD	150.57	160.94	159.00	1円円安になった場合	+11

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別業績予想

単位:百万円

		2026年3月期 実績	2027年3月期 予想		前期比		前回(1Q)予想比	
			前回(1Q)	今回(2Q)	増減額	増減率	増減額	増減率
船舶港湾機器	売上高	13,675	15,200	15,800	+2,125	+15.5%	+600	+3.9%
	営業利益	1,317	1,800	2,100	+783	+59.4%	+300	+16.7%
油空圧機器	売上高	11,836	12,200	12,200	+364	+3.1%	–	–
	営業利益	222	280	280	+58	+25.9%	–	–
流体機器	売上高	5,410	5,500	5,500	+90	+1.7%	–	–
	営業利益	873	880	880	+7	+0.8%	–	–
防衛・通信機器	売上高	26,015	32,100	32,100	+6,085	+23.4%	–	–
	営業利益	2,344	3,610	3,610	+1,266	+54.0%	–	–
その他	売上高	4,249	5,000	5,000	+751	+17.7%	–	–
	営業利益	684	550	550	▲134	▲19.6%	–	–
合計	売上高	61,186	70,000	70,600	+9,414	+15.4%	+600	+0.9%
	営業利益	5,362	7,000	7,300	+1,938	+36.1%	+300	+4.3%

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

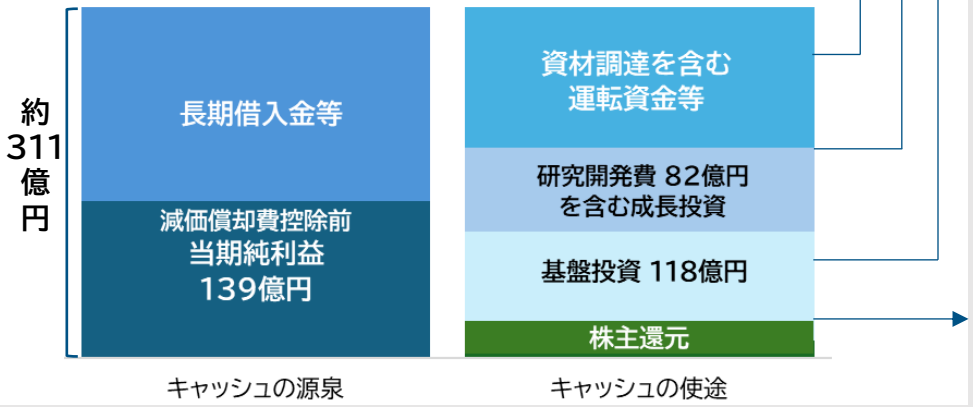
株主還元

成長投資
- 新規事業に対応する設備投資
- 研究開発
- 成長ドライバー投資（水素事業 他）
- 戦略投資（M&A 他）

基盤投資
- 老朽化設備の更新
- DXを始めとするインフラ整備
- 本社移転

運転資金
- 給料等支払
- 部材購入他

直近3ヶ年のキャッシュの源泉・使途



- 「東京計器ビジョン2030」の実現による企業価値向上に向け、成長投資を最優先としつつ、財務基盤とのバランスを考慮しながら、最適資本構成を意識した最適な株主還元施策を実施する。
- 毎期の配当については、過去の配当実績も勘案し、安定的かつ継続的な株主還元に努める。

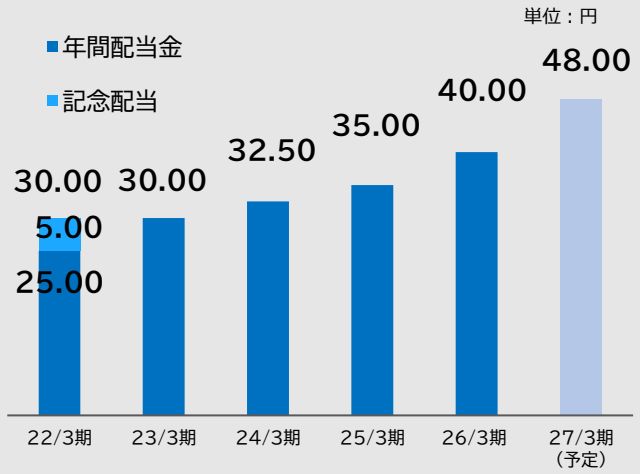
配当金

2027年3月期（予定）

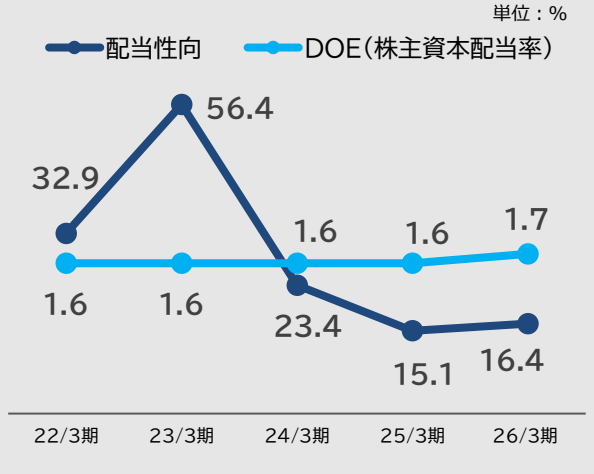
48.00円

累進配当を継続

配当金の推移



配当性向とDOEの推移



株主優待

- 対象となる株主様の保有株式数に応じてポイントを贈呈。
- ポイントを株主様限定の特設ウェブサイト「東京計器プレミアム優待倶楽部」において、お好みの商品と交換。

詳細は株主様限定ウェブサイトでご確認ください。

https://tokyokeiki.premium-yutaiclub.jp/

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

1. 2027年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2027年3月期　見通し
3. セグメント別　詳細情報
4. ご参考資料
   - トピックス
   - 業績推移
   - 事業紹介

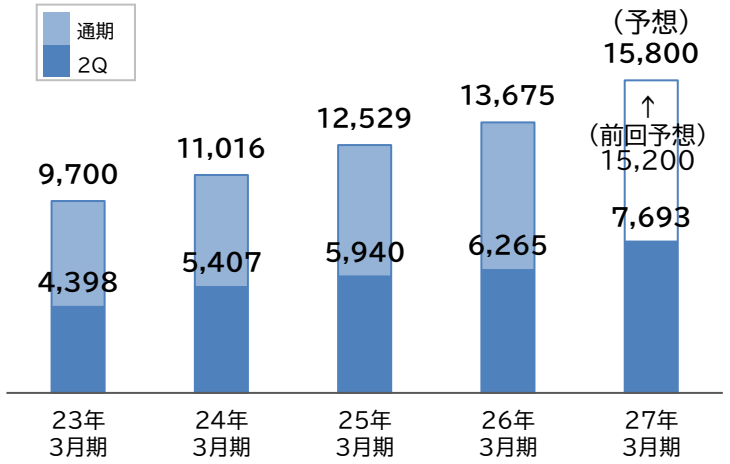
©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

船舶港湾機器事業

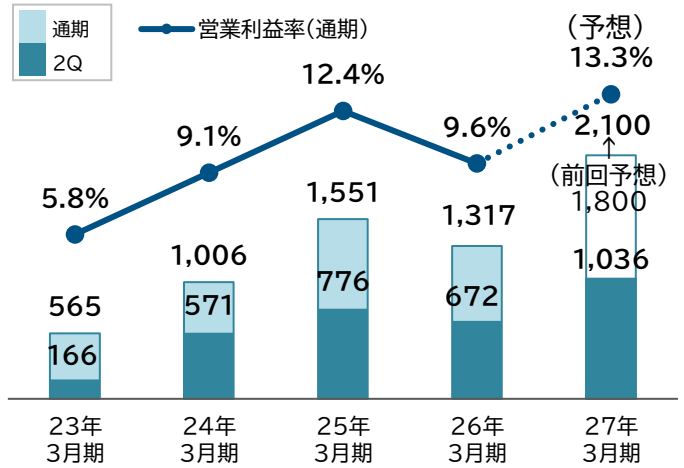
2Q　受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期2Q 実績(前年同期比)　百万円

受注高	+1,808	+25.1%	国内外の新造船向け機器の需要が好調に推移したことに加え、前期に引き続き保守サービスの需要が高水準で推移したことから、受注高・受注残高ともに増加。
受注残高	+1,985	+29.8%	
売上高	+1,427	+22.8%	国内外の新造船向け機器の需要が好調に推移したことに加え、前期に引き続き保守サービスの需要が高水準で推移したことから、増収。
営業利益	+365	+54.3%	売上高の増加や為替が円安基調で推移したことから、大幅に増益。

2027年3月期予想(前回(1Q)予想比)　百万円

売上高	+600	+3.9%	主に海外市場での新造船向け販売が好調であることや、保守サービスの需要が高水準で推移する見込み等から、上方修正。
営業利益	+300	+16.7%	売上高の増加等から、上方修正。

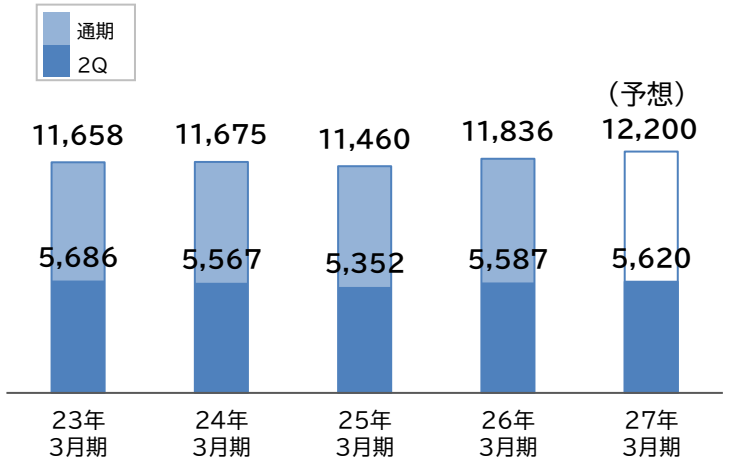
©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

油空圧機器事業

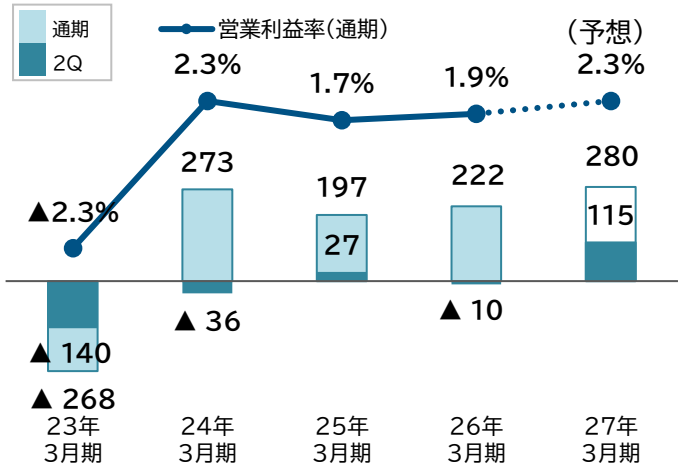
2Q　受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期2Q 実績(前年同期比)　百万円

受注高	+436	+7.6%	プラスチック加工機械市場や工作機械市場の需要が堅調に推移したことから、受注高・受注残高ともに増加。
受注残高	+575	+16.2%	
売上高	+33	+0.6%	建設機械市場向けの販売は減少したものの、プラスチック加工機械市場が堅調に推移したことから、前年同期並み。
営業利益	+125	–	高付加価値製品の販売増加や、販売価格の適正化により原価率が改善したこと等から、増益。

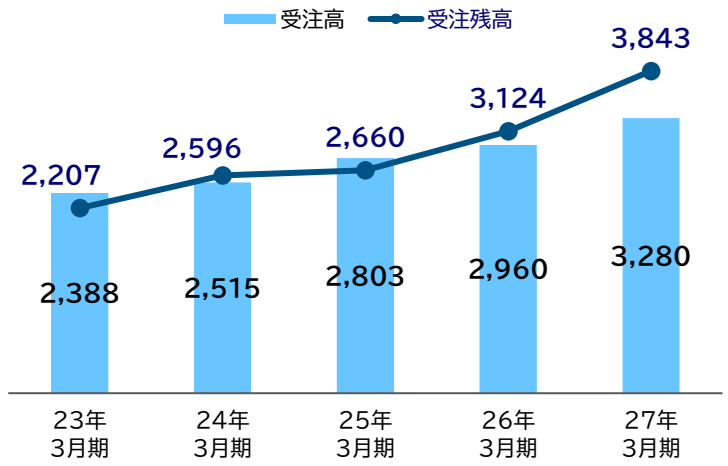
2027年3月期予想(前回(1Q)予想比)　百万円

売上高	–	–	産業機械向け、建設機械向けに濃淡が見受けられるが全体として大きな変動はなく、据え置き。
営業利益	–	–	同上

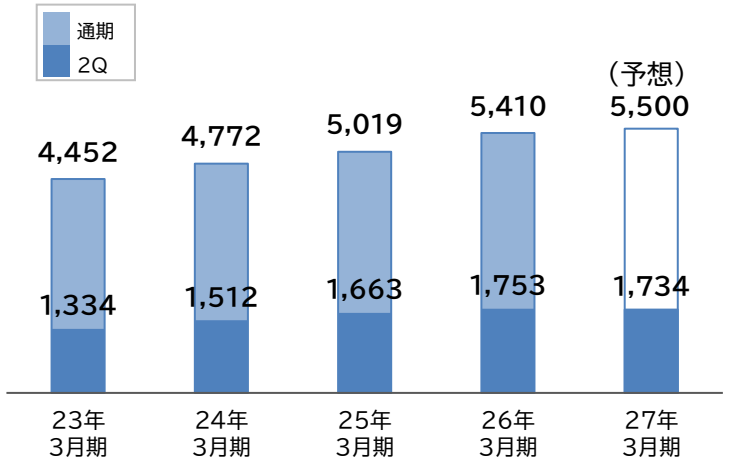
©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

流体機器事業

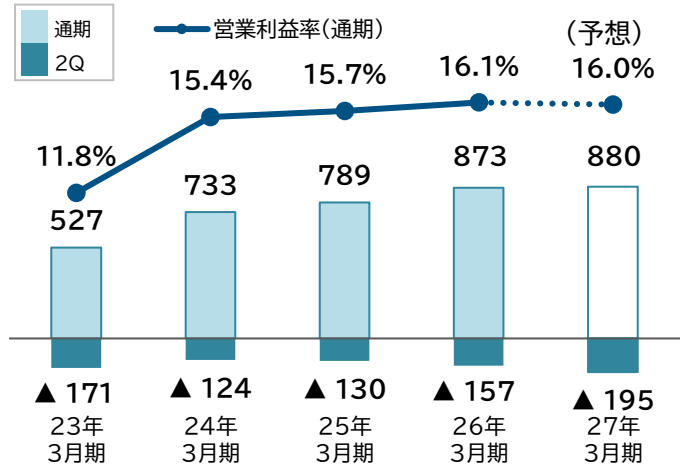
2Q　受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期2Q 実績(前年同期比)　百万円

受注高	+320	+10.8%	官需市場向けの大型案件が減少したものの、消火設備で大型案件を獲得し受注高は増加。消火設備の先行発注の積み上がりで、受注残高は大幅に増加。
受注残高	+719	+23.0%	
売上高	▲18	▲1.1%	消火設備市場では前年同期にあった大型案件がなかったものの、官需市場は堅調に推移したことから、前年同期並み。
営業利益	▲38	−	販売費及び一般管理費の増加により、営業損失は増加。計測機器事業の特性上、販売が第4四半期に集中するため、第2四半期は営業損失となる傾向。

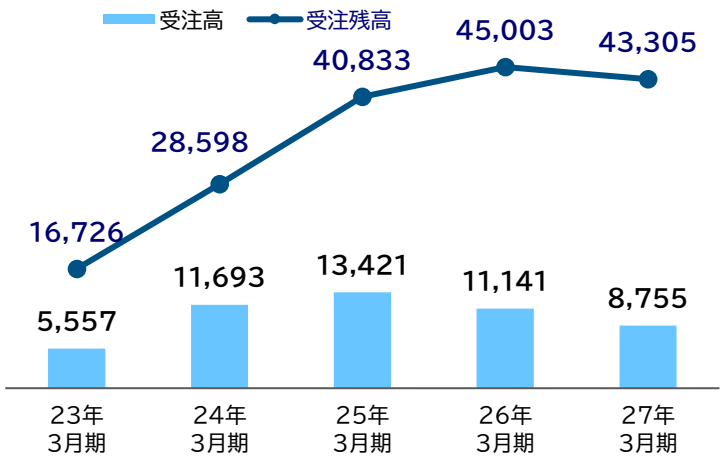
2027年3月期予想(前回(1Q)予想比)　百万円

売上高	−	−	計測機器、消火設備ともに進捗に大きな変動はなく、据え置き。
営業利益	−	−	同上

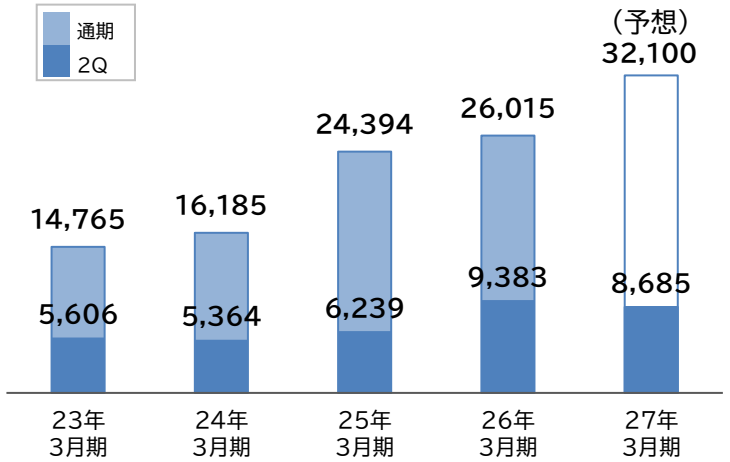
©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

防衛・通信機器事業

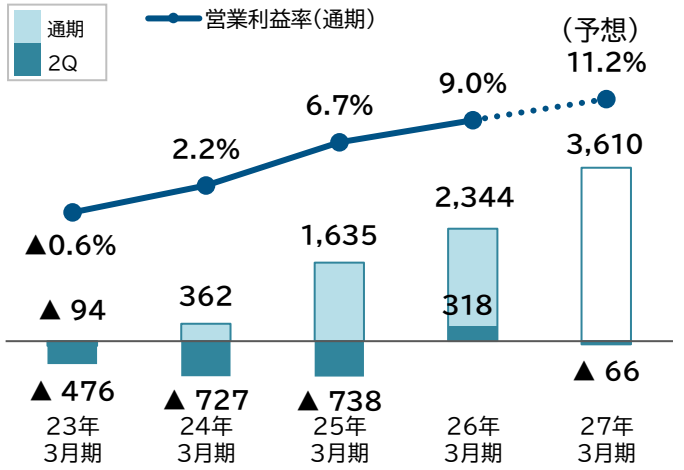
2Q　受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期2Q 実績(前年同期比)　百万円

受注高	▲2,385	▲21.4%	防衛事業の受注見込み案件が下期へ繰り延べとなったことから、受注・受注残高ともに減少。
受注残高	▲1,698	▲3.8%	
売上高	▲697	▲7.4%	通信機器事業では宇宙事業の販売増加等により増収となりました。一方、防衛事業では前年同期に案件の前倒し計上があったことに加え、今期は例年に増して販売が第4四半期に偏重のため減収。結果、全体としては減収。
営業利益	▲384	－	売上高の減少により、減益。 防衛事業の特性上、販売が第4四半期に集中するため、第2四半期は営業損失となる傾向。

2027年3月期予想(前回(1Q)予想比)　百万円

売上高	－	－	防衛事業、通信機器事業ともに進捗に大きな変動はなく、据え置き。
営業利益	－	－	同上

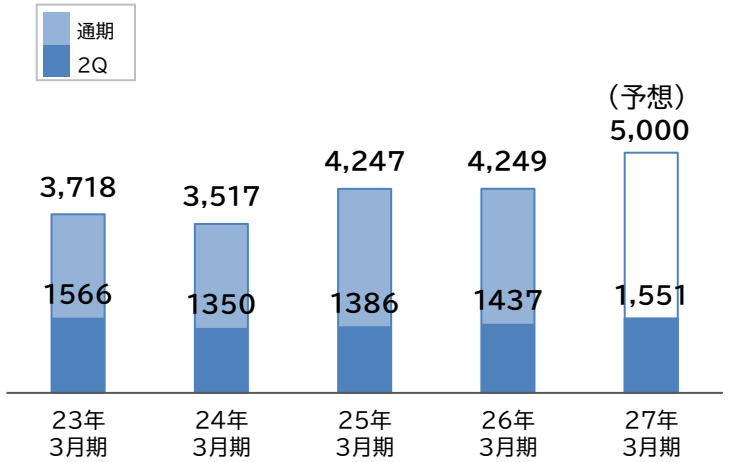
©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

その他

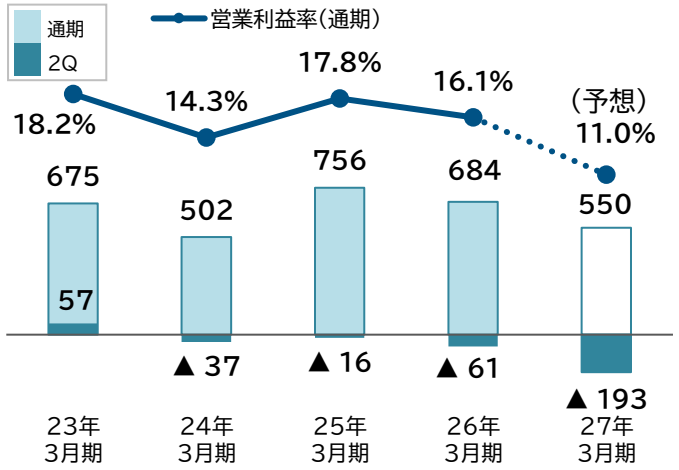
2Q　受注高・受注残高（百万円）



売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2027年3月期2Q 実績(前年同期比)　百万円

受注高	+194	+6.8%	検査機器事業が堅調に推移したことから受注高は増加、さらに鉄道事業の前期までの受注の積み上がりで受注残高は大幅に増加。
受注残高	+1,418	+39.9%	
売上高	+114	+7.9%	鉄道機器事業が順調に推移したことから、増収。
営業利益	▲132	−	検査機器事業における売上高の減少、及びその他の連結子会社において、本社移転に伴う費用負担の増加等の影響により営業損失は増加。

2027年3月期予想(前回(1Q)予想比)　百万円

売上高	−	−	検査事業、鉄道機器事業ともに進捗に大きな変動はなく、据え置き。
営業利益	−	−	同上

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

1. 2027年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2027年3月期　見通し
3. セグメント別　詳細情報
4. **ご参考資料**
   - ■ トピックス
   - ■ 業績推移
   - ■ 事業紹介

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

Tokyo Artisan Intelligence　資本業務提携

ニッチトップ製品へのAI実装による競争力強化を推進

Tokyo Artisan Intelligence株式会社(以下「TAI」)は、AIと半導体技術を活用したエッジAIソリューションを開発するディープテック企業であり、労働力不足や技術承継などの社会課題解決に取り組んでいます。東京計器グループは、鉄道機器事業でのAI活用実績を踏まえ、TAIのAI・半導体技術をグループのニッチトップ製品へ展開することで、製品競争力の強化と新製品開発を加速します。さらに、TAIが推進する「フィジカルAI」の事業展開においても、当社がこれまで培ってきたものづくりの技術やノウハウを活かすことで、事業化の推進に貢献できるものと考えています。



協業実績：軌道検査省力化システム
出所：当社広報誌
詳細はこちら ➡ VIEWS No.129 03.pdf

＜協業実績＞

鉄道機器事業で軌道検査省力化システムにAI活用を実装

- **レール周辺の不良箇所を自動判定**
- **検査業務の省力化・効率化に貢献**

更にグループの製品へAI実装を展開

＜今後の展開＞

AI・半導体技術を東京計器グループのニッチトップ製品へ展開

- **新製品開発の加速**
- **製品競争力の向上**

TAIの価値観

Mission
AI × ものづくり × 半導体で社会課題を解決

Vision
AI半導体企業に成長します

Value
1. 組織で動く
2. 顧客起点で考える
3. 挑戦し、学び続ける
4. 信頼を積み重ねる

詳細はこちら ➡ Tokyo Artisan Intelligence

TAI TokyoArtisan Intelligence®

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

M&A、グローバル化の推進



韓国企業2社を連結子会社化し、韓国を起点にアジア市場への展開を加速

「東京計器ビジョン2030」で掲げる事業領域の拡大、グローバル化の推進および既存事業の継続的強化の実現に向け、TOKIMEC KOREA POWER CONTROL CO.,LTD.（以下「TKP」）、DK M-TECH CO.,LTD.（以下「DKM」）を連結子会社化しました。両社の事業基盤を活用し、既存事業の成長と新規事業領域の開拓を進めるとともに、韓国をアジア展開の拠点としてグローバル化を加速してまいります。

TKP	DKM
■ 船舶用油圧機器の開発・販売を強化 ■ 水素、省エネルギー、環境対応等向け当社製品・技術を展開 ■ 流量計、半導体製造装置向けマイクロ波電源、鉄道保線機器等の拡販・事業展開	■ 韓国造船市場での舶用機器販売を強化 ■ 監視カメラ・超音波防汚装置等の独自製品のアジアをはじめとする海外市場へ展開

＜目指すシナジー＞

- **韓国市場における既存顧客との関係強化、販売・サービス体制の強化及び韓国を起点にアジアをはじめとした海外展開**
- **顧客とともに新たな価値を創り出す「協創型」の新たな事業機会の創出**

本件による当期（2027年3月期）における当社連結業績への影響は、連結期間が限定的であることから、軽微であると見込んでおります。
なお、本件により今後当社の連結業績に重要な影響を与えることが見込まれる事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

日経CNBC「トップに聞く」に出演

投資家向け情報発信

足元の好調な業績とその背景、防衛省が推進する「新たな戦い方」への対応として、当社がドローン対処用に提案しているトータルソリューションに加え、「東京計器ビジョン2030」に掲げる成長施策の進捗について、スライドや動画を交えながら紹介しました。

放送日:2026年9月10日

番組:日経CNBC「トップに聞く」

出演者:代表取締役 社長執行役員　安藤 毅

＜主なテーマ＞

- 直近の業績(好調な船舶港湾機器事業、防衛・通信機器事業)
- 防衛分野の強みと動向・見通し
- 「東京計器ビジョン2030」で掲げる成長施策とその進捗
- 株主還元の考え方



アーカイブ動画(期間限定公開)はこちら

2027年9月13日(月)23:59まで視聴可能

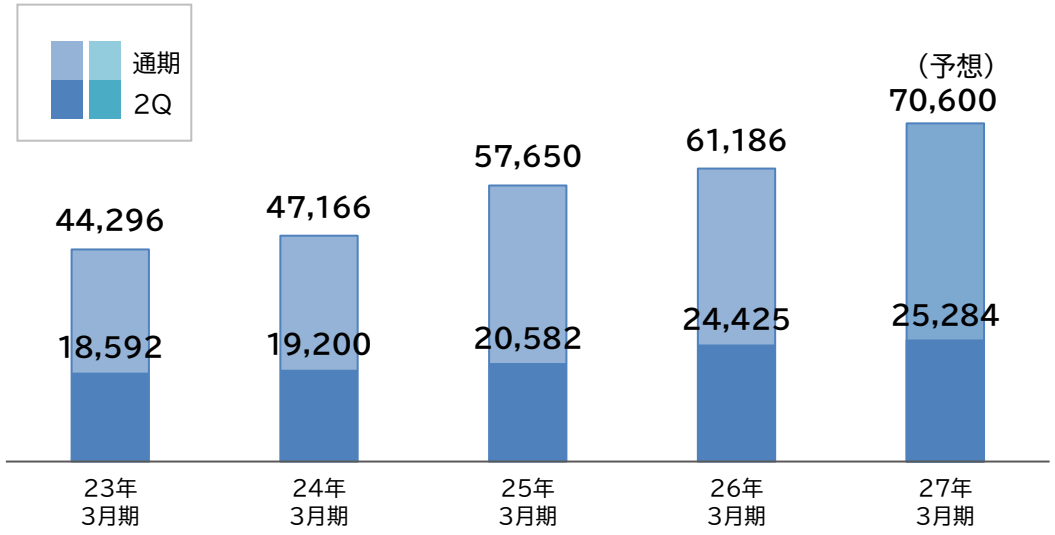
©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

1. 2027年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2027年3月期　見通し
3. セグメント別　詳細情報
4. **ご参考資料**
   - トピックス
   - **業績推移**
   - 事業紹介

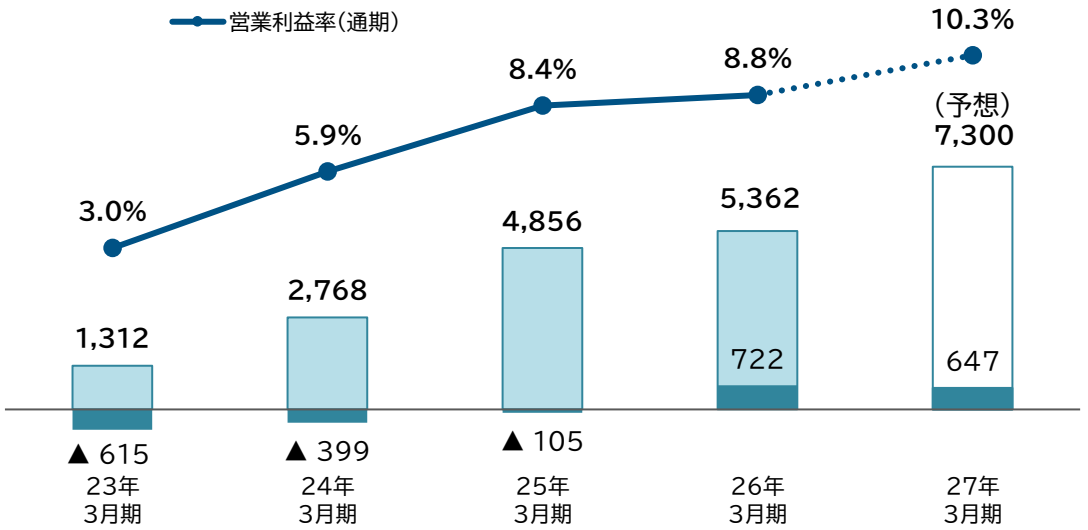
©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

売上高・営業利益推移

売上高（百万円）



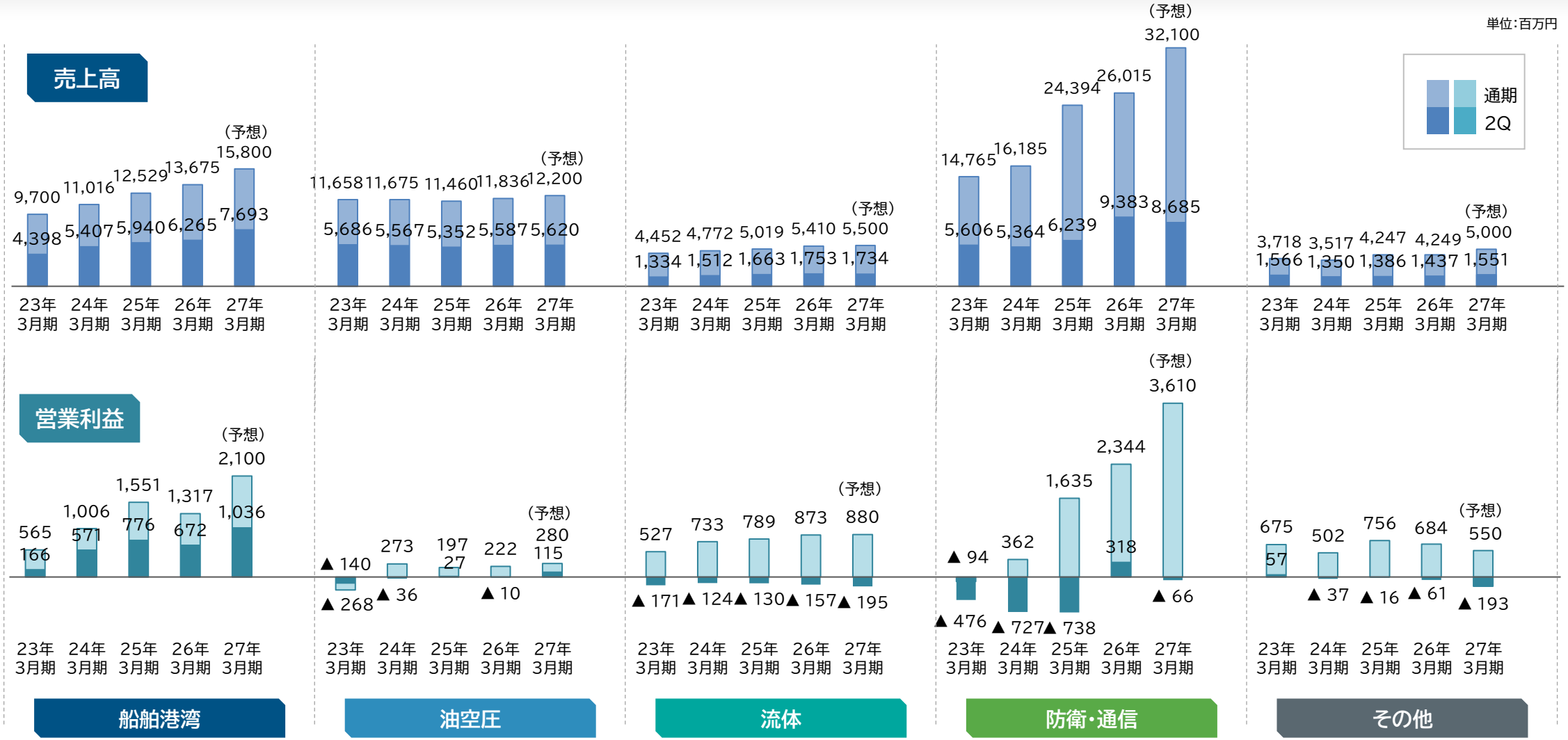
営業利益　（百万円）



単位:百万円	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	2027年3月期 2Q	前年同期比（増減額）	前年同期比（増減率）
売上高	18,592	19,200	20,582	24,425	**25,284**	+859	+3.5%
営業利益	▲615	▲399	▲105	722	**647**	▲75	▲10.4%
経常利益	▲322	▲259	28	825	**821**	▲4	▲0.5%
中間純利益	▲229	▲237	63	839	**945**	+106	+12.6%

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

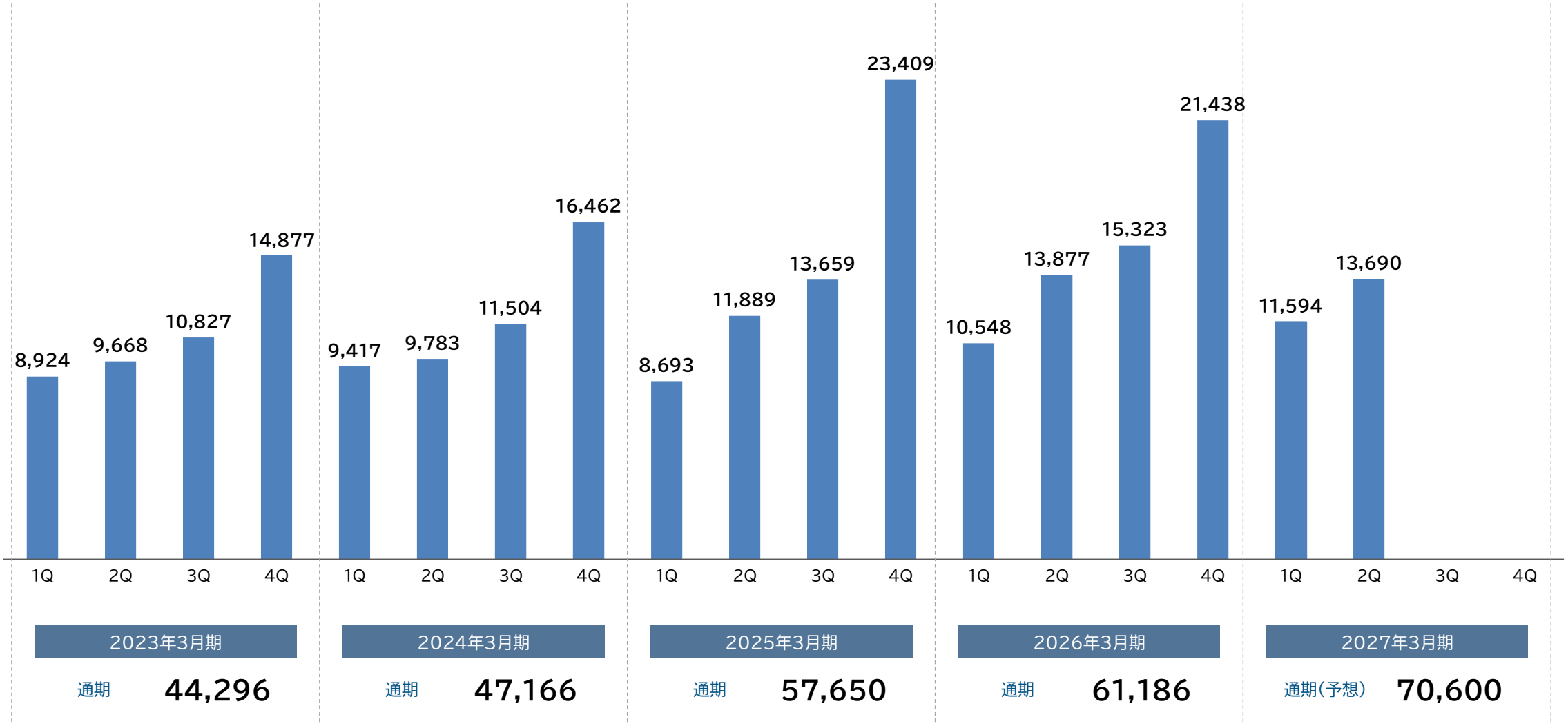
セグメント別　売上高・営業利益推移



©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

四半期　売上高推移

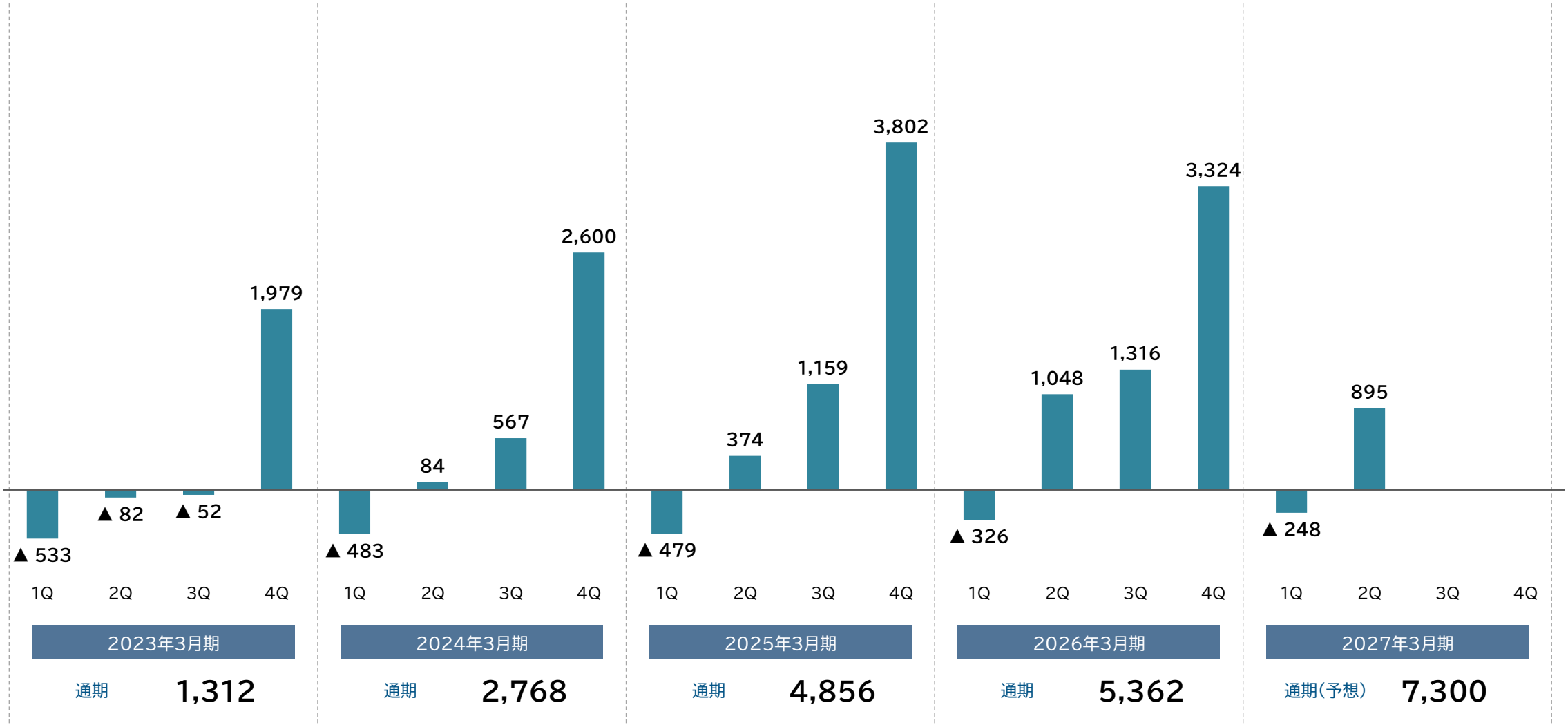
単位：百万円



©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

四半期　営業利益推移

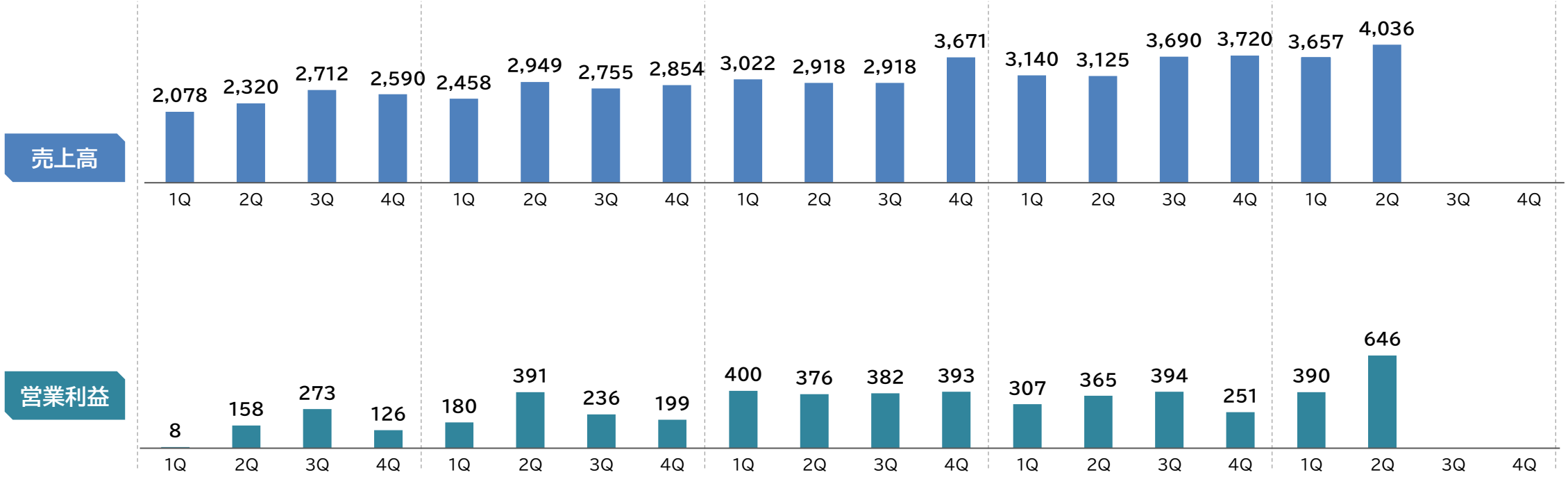
単位：百万円



©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　売上高・営業利益推移　船舶港湾

単位：百万円

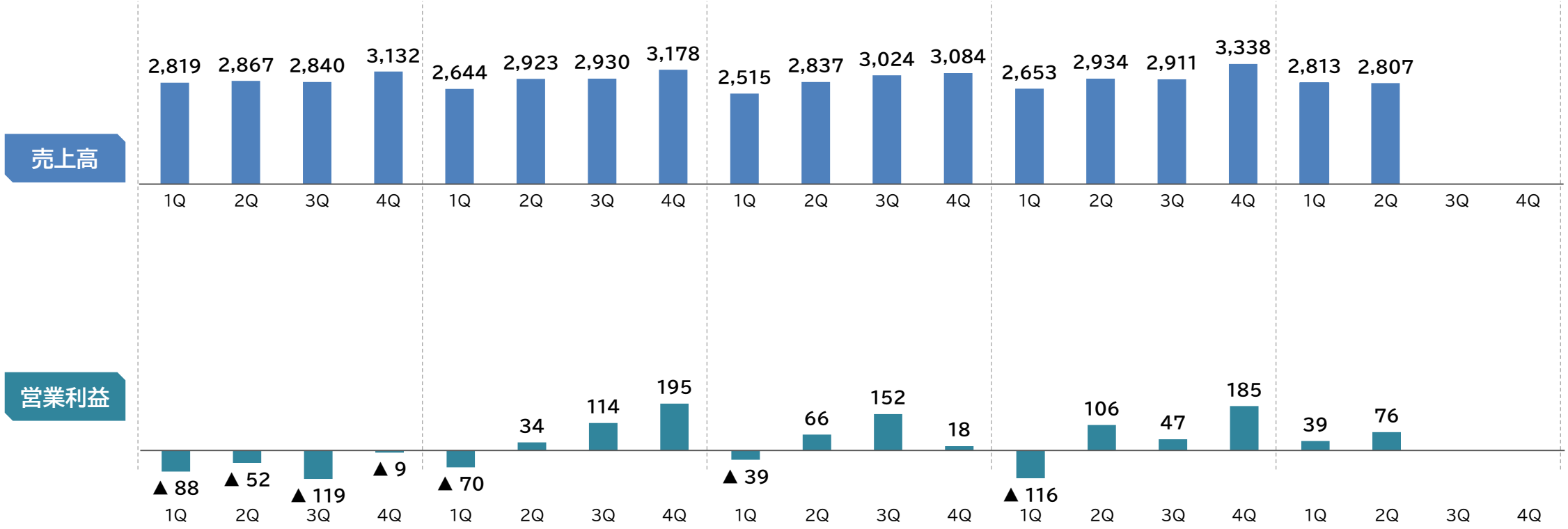


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	9,700	565	11,016	1,006	12,529	1,551	13,675	1,317	15,800	2,100

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　売上高・営業利益推移　油空圧

単位：百万円

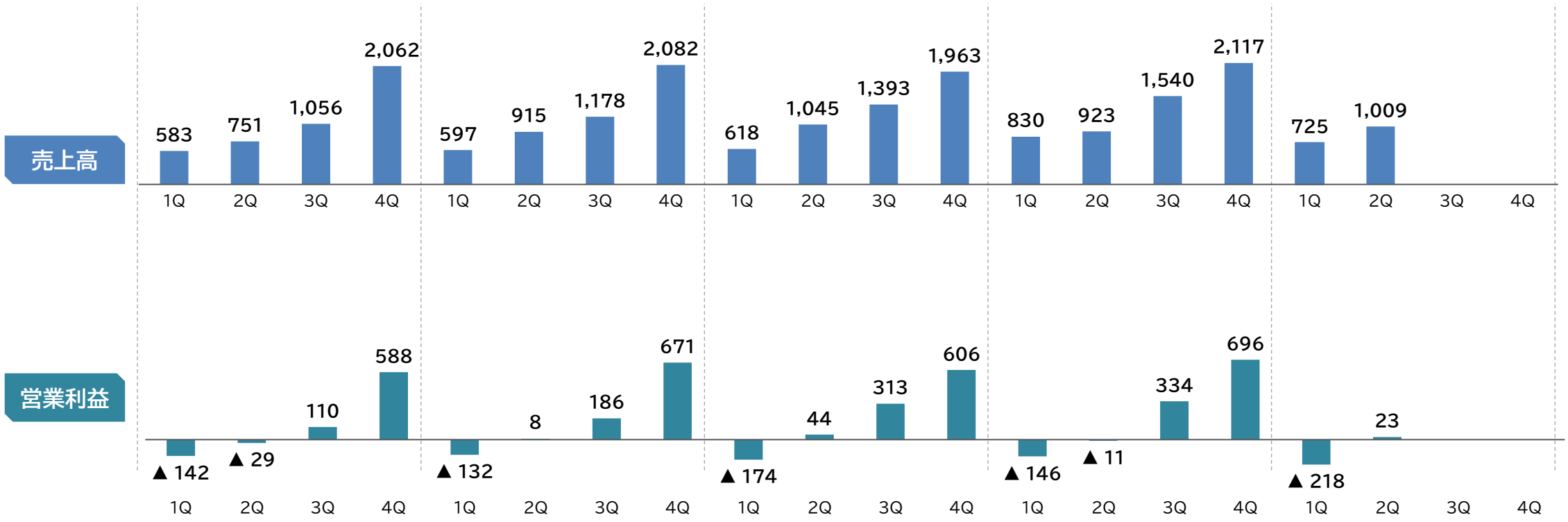


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	11,658	▲268	11,675	273	11,460	197	11,836	222	12,200	280

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　売上高・営業利益推移　流体

単位：百万円

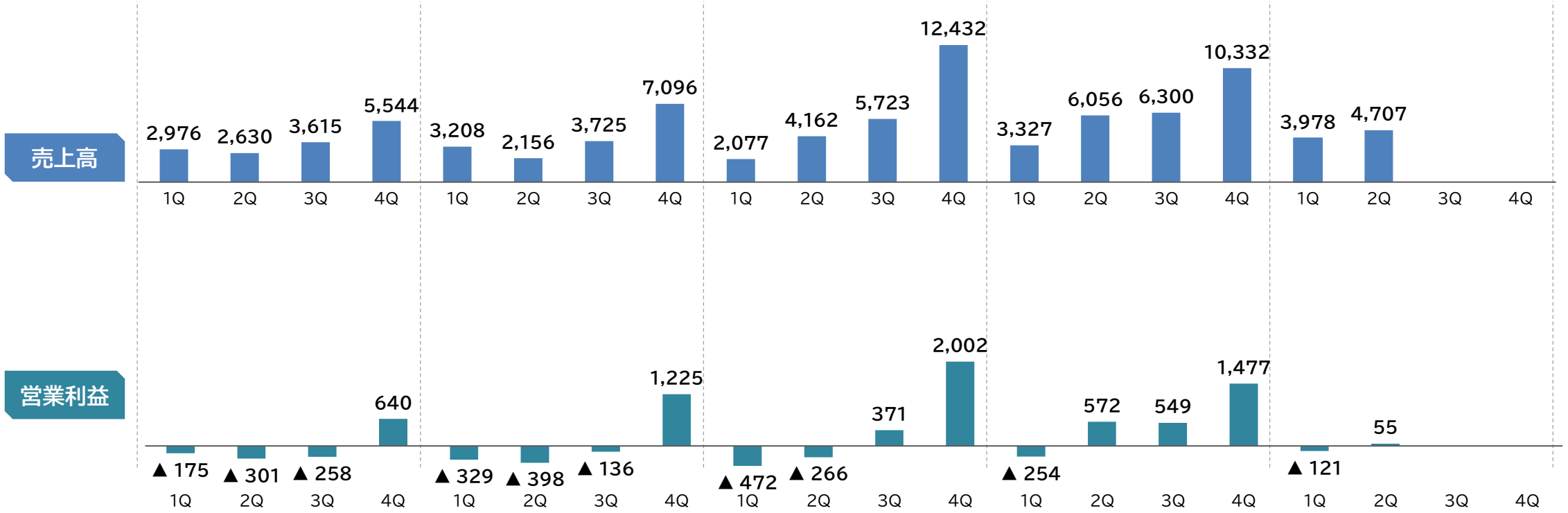


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	4,452	527	4,772	733	5,019	789	5,410	873	5,500	880

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　売上高・営業利益推移　防衛・通信

単位：百万円

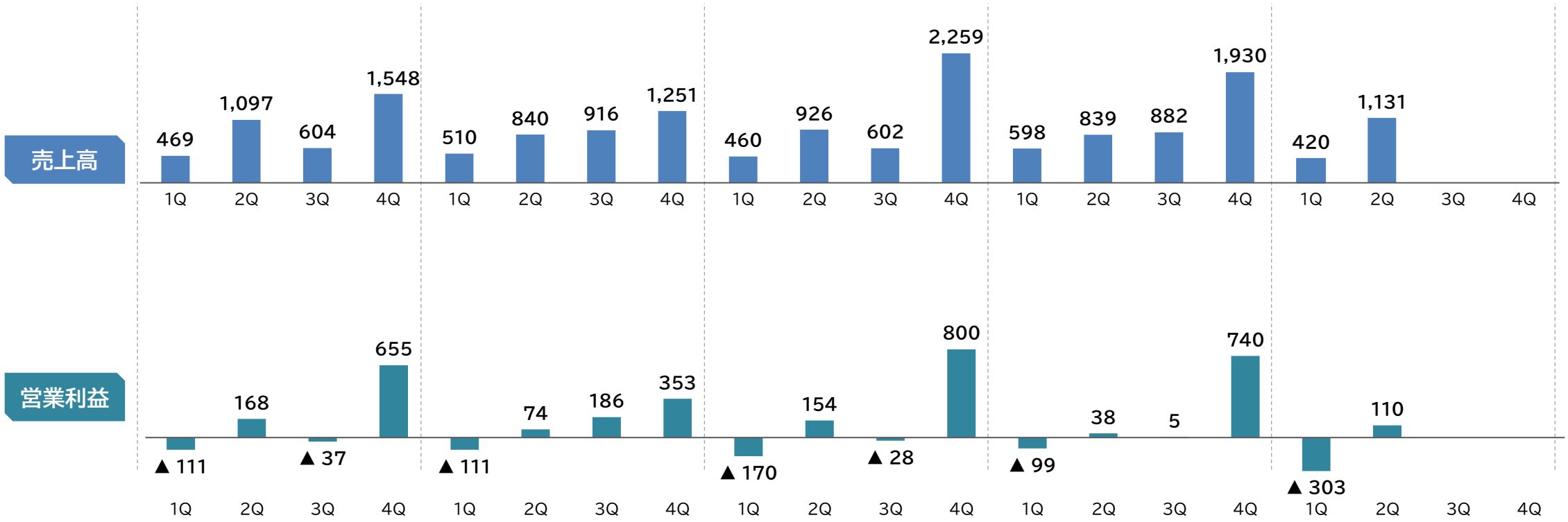


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	14,765	▲94	16,185	362	24,394	1,635	26,015	2,344	32,100	3,610

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　売上高・営業利益推移　その他

単位：百万円

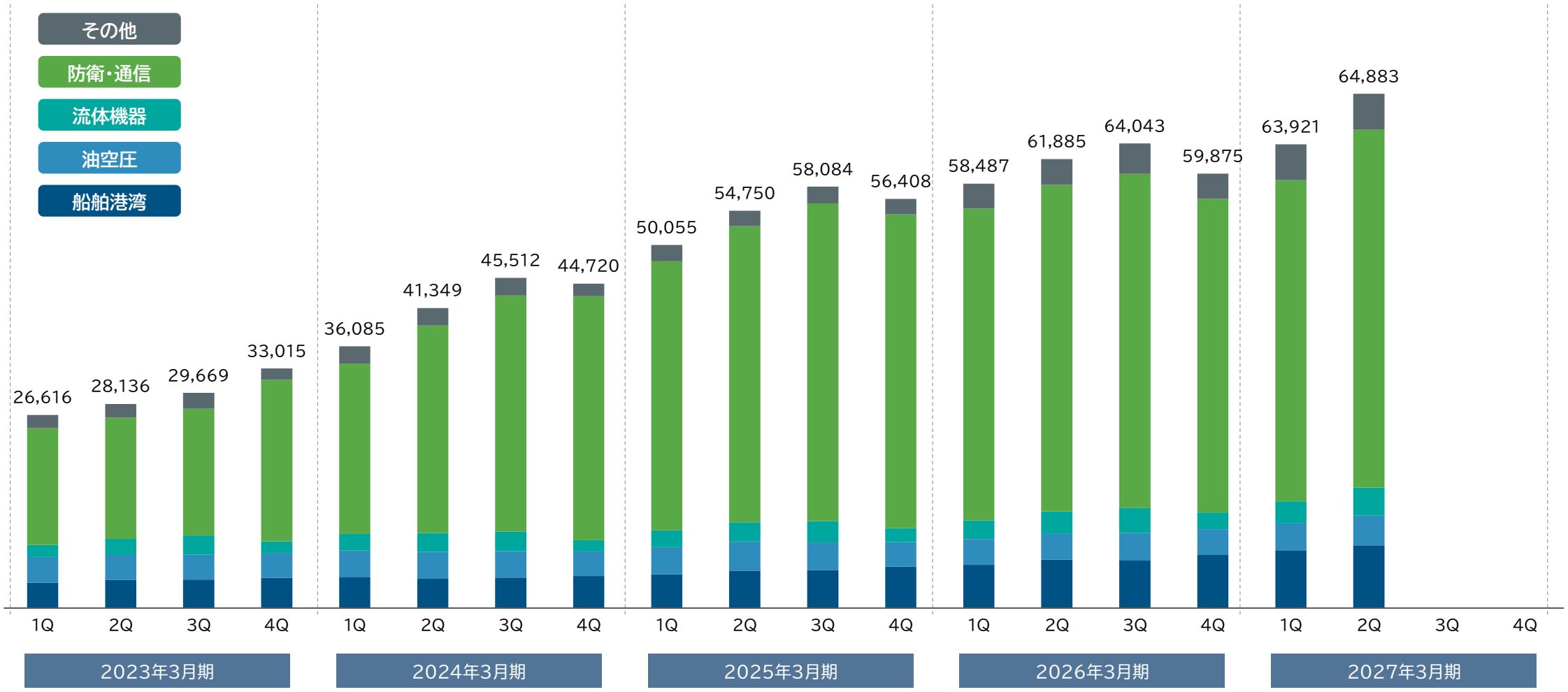


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期(予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通期	3,718	675	3,517	502	4,247	756	4,249	684	5,000	550

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

四半期　受注残高推移

単位：百万円



©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

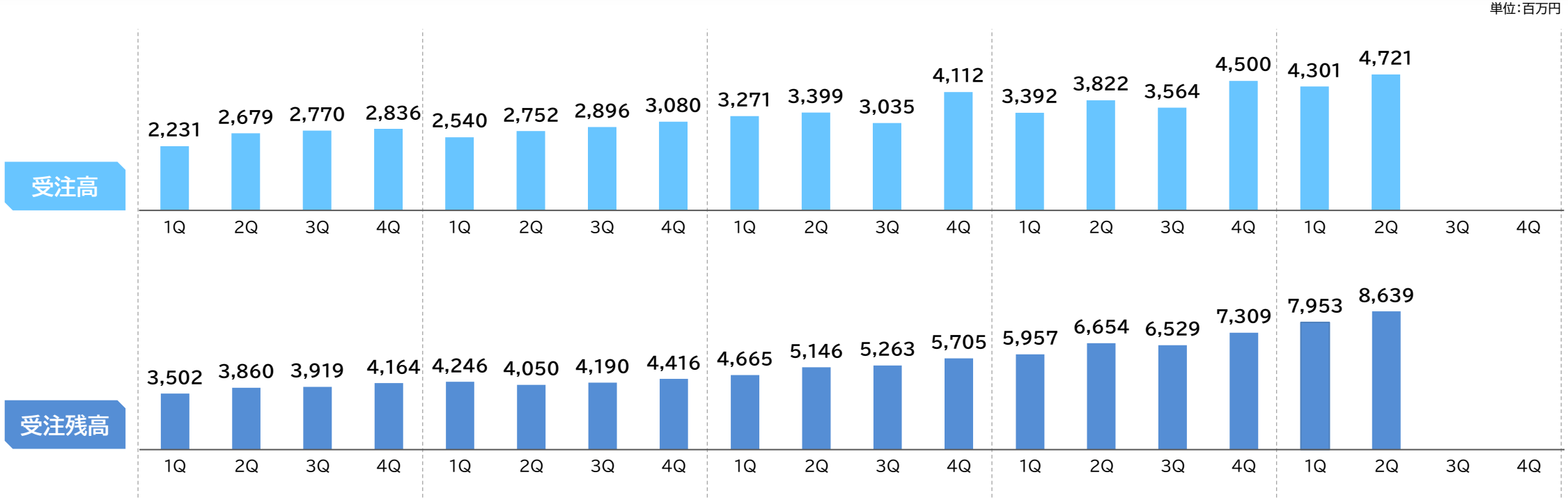
セグメント別　四半期　受注残高推移　一覧表

	単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
船舶港湾	1Q	3,502	4,246	4,665	5,957	**7,953**
	2Q	3,860	4,050	5,146	6,654	**8,639**
	3Q	3,919	4,190	5,263	6,529	
	4Q	4,164	4,416	5,705	7,309	
油空圧	1Q	3,547	3,713	3,732	3,551	**3,694**
	2Q	3,458	3,695	4,004	3,551	**4,125**
	3Q	3,424	3,638	3,785	3,832	
	4Q	3,439	3,399	3,390	3,562	
流体	1Q	1,652	2,239	2,315	2,555	**3,081**
	2Q	2,207	2,596	2,660	3,124	**3,843**
	3Q	2,650	2,705	2,907	3,424	
	4Q	1,593	1,521	1,917	2,297	
防衛・通信	1Q	16,096	23,510	37,096	43,000	**44,271**
	2Q	16,726	28,598	40,833	45,003	**43,305**
	3Q	17,497	32,555	43,812	46,070	
	4Q	22,269	33,651	43,246	43,235	
その他	1Q	1,820	2,377	2,247	3,423	**4,923**
	2Q	1,885	2,410	2,106	3,553	**4,970**
	3Q	2,179	2,424	2,317	4,189	
	4Q	1,550	1,733	2,151	3,472	

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　受注・受注残高推移　船舶港湾

単位：百万円

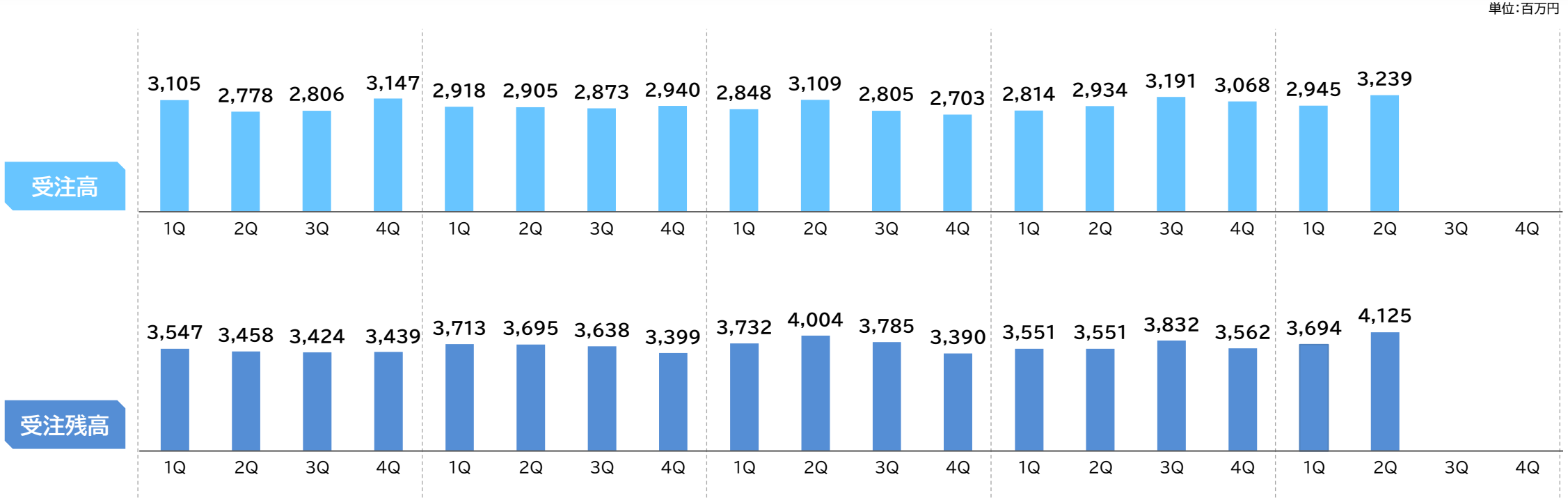


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期　2Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	10,516	4,164	11,268	4,416	13,817	5,705	15,280	7,309	9,022	8,639

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　受注・受注残高推移　油空圧

単位：百万円

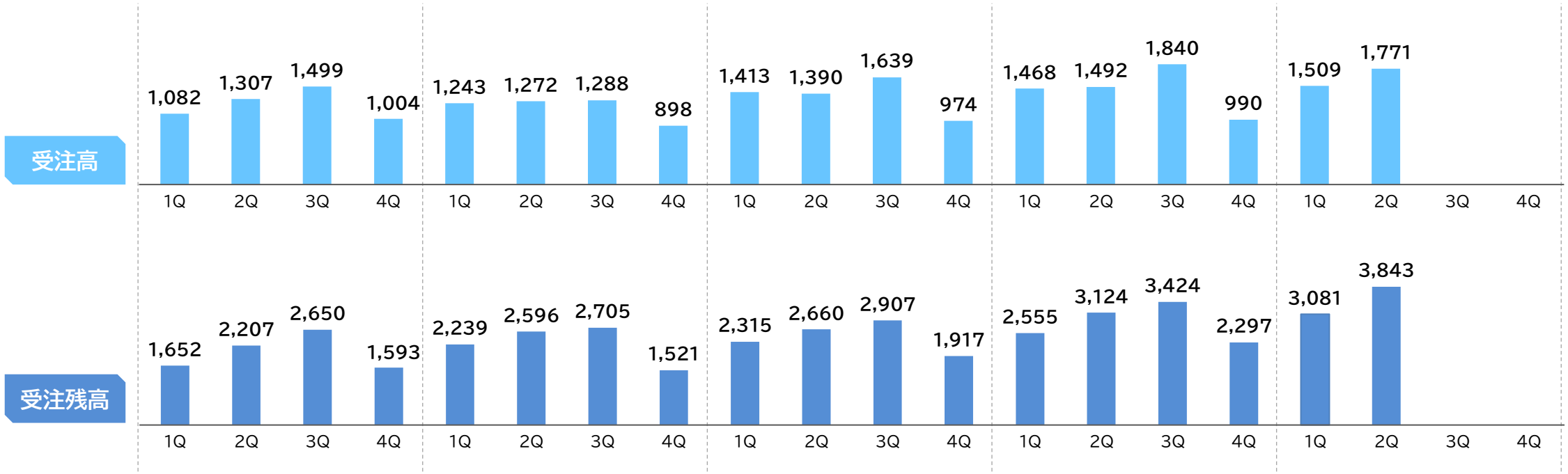


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期　2Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	11,836	3,439	11,635	3,399	11,466	3,390	12,007	3,562	6,184	4,125

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　受注・受注残高推移　流体

単位：百万円

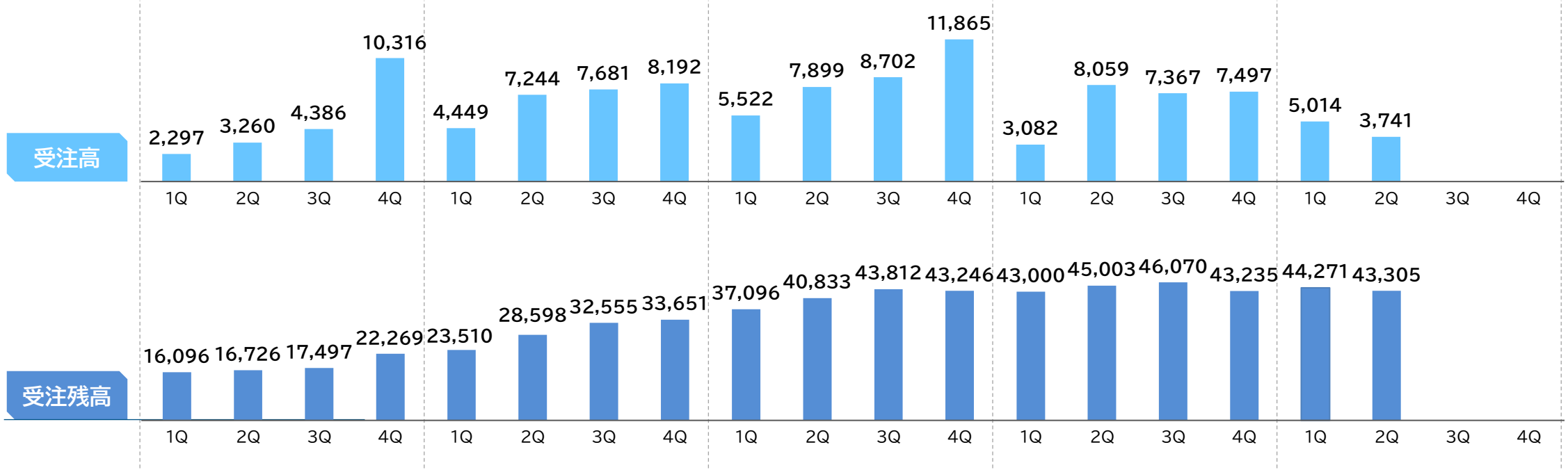


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期　2Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	4,892	1,593	4,700	1,521	5,415	1,917	5,790	2,297	3,280	3,843

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　受注・受注残高推移　防衛・通信

単位：百万円

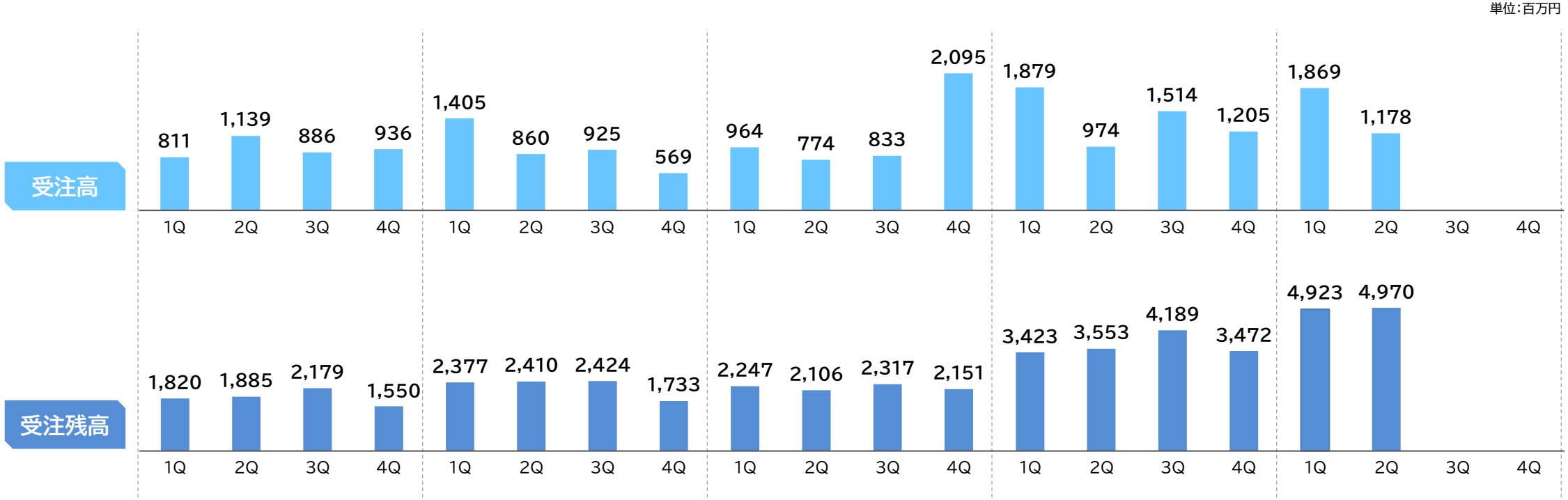


	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期　2Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	20,259	22,269	27,566	33,651	33,988	43,246	26,004	43,235	8,755	43,305

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

セグメント別　四半期　受注・受注残高推移　その他

単位：百万円



	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期　2Q	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
通期	3,771	1,550	3,759	1,733	4,666	2,151	5,572	3,472	3,047	4,970

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

貸借対照表

単位：百万円	2026年3月末	2026年9月末	増減額
資産の部			
流動資産	57,578	55,454	▲2,124
（棚卸資産）	27,192	33,714	6,522
固定資産	27,203	29,641	2,438
（有形固定資産）	12,950	13,433	+482
資産合計	**84,781**	**85,095**	**+314**
負債の部			
流動負債	26,973	25,815	▲1,158
（短期借入金）	13,495	13,829	+334
固定負債	11,652	12,202	+549
（長期借入金）	8,291	8,316	+24
負債合計	**38,625**	**38,017**	**▲608**
純資産の部			
株主資本	39,626	39,921	+295
その他の包括利益累計額	5,895	6,567	+672
純資産合計	**46,155**	**47,078**	**+922**
負債純資産合計	**84,781**	**85,095**	**+314**
自己資本比率	**53.7%**	**54.6%**	**+0.9pt**

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

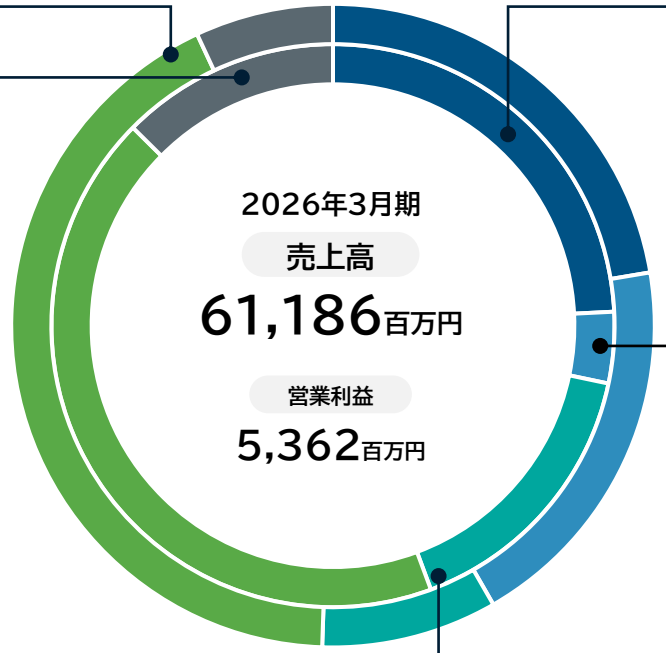
1. 2027年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2027年3月期　見通し
3. セグメント別　詳細情報
4. **ご参考資料**
   - トピックス
   - 業績推移
   - 事業紹介

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

東京計器グループの主要事業紹介

■ 東京計器グループの事業は4つのセグメント及びその他事業に分かれ、その中に11の事業があります。

外側：売上高構成比率／内側：営業利益構成比率



防衛・通信機器事業

売上高 42.5%
営業利益 43.1%

- 防衛機器
- 海上交通機器
- センサー機器
- 高周波応用機器
  （マイクロ波応用機器）
- 通信制御機器



その他事業

売上高 6.9%
営業利益 12.6%

- 検査機器
- 鉄道機器



船舶港湾機器事業

売上高 22.4%
営業利益 24.2%



- 航海機器

油空圧機器事業

売上高 19.3%
営業利益 4.1%



- 油空圧機器

流体機器事業

売上高 8.8%
営業利益 16.0%



- 計測機器
- 消火設備

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

コア技術創出の歴史

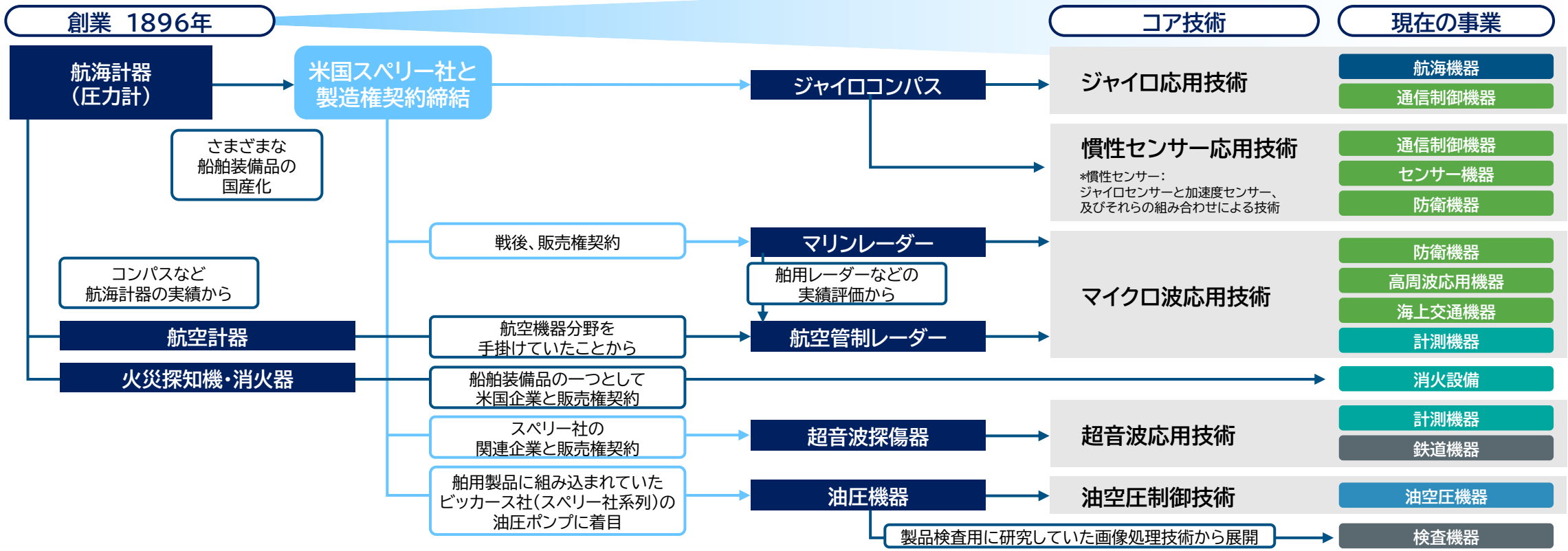


創業者　和田嘉衡（よしひら）

漫画　創業者物語はこちら▼

漫画 創業者物語

東京計器グループの事業の源は、明治時代、航海計器の開発に遡ります。
ジャイロ技術から始まり、いくつものコア技術が生まれ、現在のような事業に発展してきました。
これらのコア技術は、事業間で共有することで新たな製品の開発が進むなど、今でもイノベーションの源泉となっています。



©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

船舶港湾機器事業

航海機器

船舶の安全航行、省エネ操船に貢献

航海機器

業界シェア

ジャイロコンパス
・オートパイロット

世界の商船
6割以上

国内内航船
8割以上

- 操船に必要な航海計器をトータルでラインナップし、グローバルに提供。
- 日本で最初にジャイロコンパスやオートパイロット、レーダーの生産を開始した、航海計器のパイオニア。



自動操舵など
操縦系統を担う
オートパイロット



方位を指し示す
ジャイロコンパス



センサー部に定期交換が
必要な可動部分が無い
光ファイバージャイロ（FOG）



海図情報を表示するECDIS
（電子海図情報表示装置）

- ジャイロコンパス、オートパイロットのトップ企業として、無人運航船開発プロジェクトやGHG排出削減に貢献する風力推進船プロジェクトに参画。



「無人運航船の社会実装に向けた
プロジェクトDFFAS+」



「ウインドチャレンジャー
プロジェクト」

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

油空圧機器事業

油空圧機器　ものづくり、インフラづくりの現場で活躍

産業機械向け

■ 射出成形機、工作機械、自動車製造用ダイカストマシン等に、省エネ・制御性に優れた油空圧機器を提供。

業界シェア
国内プラスチック
射出成形機用
約4割



流量や圧力を制御する
ポンプ回転数制御システム



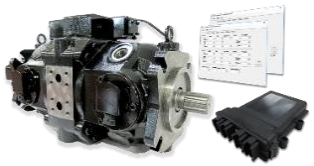
工作機械や一般産業機械の
油圧動力源として広く利用
される小形パワーユニット



あらゆる油圧機器に
用いられる電磁切換弁

建設機械向け

■ 主にクレーン、高所作業車等の特装車向けに油圧製品と駆動を制御する電子機器を提供。



電気ダイレクト制御
ピストンポンプ



コントローラー



ディスプレイ

水素エネルギー活用

■ 水素ステーション向け油圧式水素圧縮装置や分割モジュール式水素圧縮パッケージを提供。





水素ステーション向け
水素圧縮装置



分割モジュール式
水素圧縮パッケージ

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

流体機器事業

計測機器

暮らしと人命を守る：水資源の管理や河川防災で生活の安全に貢献

流量・水位監視

- 超音波流量計を世界で初めて実用化したパイオニア。
- 超音波流量計は、上下水道や農業用水配管網の流量監視で活躍。

業界シェア
国内上下水道、農業用水向け
6割以上



上水、農業用水、工業用水の監視等に使われる超音波流量計



簡単取付・簡単設定の超音波流量計



ミリ波による狭いビームでより安定した計測が可能な電波レベル計

国土防災

- 電波レベル計を利用したシステムで、相次ぐ河川氾濫や都市水害から人命を守る。



河川の水位上昇をいち早く知らせる危機管理型水位計



下水がマンホールから溢れ出ることによる都市水害の危険を知らせる溢水対策水位計

消火設備

火災から守る： ガス系消火設備が水濡れ厳禁の施設で活躍

- 日本で初めて不活性ガス消火設備を手掛けて以来、各種ガス系消火設備で暮らしの安全に貢献。



水・泡消火が適さない印刷機械などを有する工場施設、オフィスビル、美術館、博物館、立体駐車場などに適したガス系消火設備

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

防衛・通信機器事業

防衛機器

国防に貢献：マイクロ波応用技術や慣性センサー技術が強み

- 防衛向けの航空機搭載用電子機器や艦艇向け航法装置などの開発・生産・修理保守。



◀ 写真提供：
イカロス出版/赤塚聡



航空機を取り巻く電波を瞬時に分析し、
危険なレーダー照射などに対し警報を発する
レーダー警戒装置





GPSなどを利用した方位測定ができない
潜水艦などに搭載される高精度の
リングレーザージャイロを用いた慣性航法装置



航空機の高度、速度などを計算する
対気諸元計算装置（ADC）
ブルーインパルスの機体にも搭載

海上交通機器

船の安全航行に貢献：”海の管制塔“ともいえる海上交通システムを提供

- 混雑する海上交通路の管制業務に必要な、「海上監視レーダー」や「AIS*1情報管理装置」といったVTS*2システムを提供。
- 欧州の湾岸や河川向けにもVTS用レーダーを納入。

業界シェア

国内海上交通センターのVTSシステム 100%



東京湾「海ほたる」
に設置された
海上監視レーダー



全国7か所の港湾に
設置された海上交通
センターの管制業務
を担うVTSシステム

*1 AIS：Automatic Identification System
船舶間や船舶と航行援助施設などとの間で情報交換を行うシステム
*2 VTS：Vessel Traffic Services
船舶通航業務

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

防衛・通信機器事業

センサー機器

業界シェア

気象庁向け
地震計用加速度計
約8割

慣性センサーや制御技術の組み合わせでスマート農業や防災システムに貢献

- ジャイロ、慣性センサー、独自のソフトウェア技術が結集したトラクタ直進自動操舵補助装置でスマート農業を推進。
- 気象庁向け地震計に使用される加速度計で国土防災に貢献。



震度測定に不可欠な
地震加速度計



農作業の負担軽減のための
農業機械向け直進自動操舵補助装置

高周波応用機器

マイクロ波応用技術を駆使し、半導体製造装置部品や宇宙ビジネスなどの先進産業に参入

- ソリッドステートマイクロ波電源を半導体製造装置に搭載することで、半導体の微細化を実現。
- 観測衛星から地表に向けて発するレーダー信号を増幅させるマイクロ波増幅器を提供。



次世代半導体の製造装置
などに使用される
ソリッドステートマイクロ波電源



マイクロ波増幅器が搭載された
観測衛星（SAR衛星）

通信制御機器

業界シェア

国内TV局の報道
ヘリに搭載される
アンテナ自動指向装置
9割以上

ジャイロセンサー、加速度計、磁気方位センサーなどの技術を放送品質向上に活用

- 国内TV局の報道ヘリに搭載されているアンテナ自動指向装置が、空撮映像の確実な送信を実現。
- 報道ヘリや中継車に搭載されたカメラ防振装置により、安定した映像撮影を実現。



ヘリコプターの位置と姿勢方位を絶えず把握のうえ、
中継アンテナを常に受信局に向けるよう制御し、
途切れなく映像を伝送するアンテナ自動指向装置



放送局の報道ヘリや、国内の主要なマラソン・
駅伝中継などで、中継車に搭載される
カメラ防振装置

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

その他事業（検査・鉄道）

検査機器

印刷の品質向上に貢献： 高精度な画像処理技術で印刷や素材のトラブルを検出

- 自社開発のチップで、高速リアルタイム画像処理を実現。
- 印刷ミスや異物混入を自動で高速探知し、作業効率向上や材料のムダ排除を促進。

業界シェア

軟包材向け
グラビア印刷機向け
国内
トップシェア



印刷の不良率の低減と印刷品質の確保を実現する印刷品質検査装置



フィルム、不織布、金属箔など無地素材の生産加工不良や異物混入などを検出する素材検査装置

軟包材：
プラスチックフィルム、紙、アルミフォイルなどのような薄い柔軟性のある材料で構成されている包装材

鉄道機器

鉄道の安全運行に貢献： 超音波技術に加え、画像処理、ジャイロ技術・慣性センサー技術を鉄道保線に活用

- レール探傷器や分岐器検査装置などの測定機器及び保線役務で、鉄道保線業務を支える。

業界シェア

JR各社・
国内民営鉄道向け
超音波レール探傷車
7割以上



レール内部の傷に対し、超音波探傷による非破壊検査を行うレール探傷車



複数種の軌道材料の状態を自動で検査・判定する軌道検査省力化システム



レールのゆがみなど、軌道検査を行う慣性式軌道検測装置（写真はプロトタイプ）

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved

注意事項

将来情報に係るご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、
種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。
また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。
本資料ご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

東京計器株式会社	コーポレート・コミュニケーション室　早川
TEL	03-3730-7013
問合せフォーム	https://www.tokyokeiki.jp/form/webform_ir.html
ホームページ	https://www.tokyokeiki.jp/



株式会社シェアードリサーチによるアナリストレポートを公開しています。

日本語版　https://sharedresearch.jp/ja/companies/7721
英語版　https://sharedresearch.jp/en/companies/7721
本レポートは予告なく公開終了する場合がございます。

©TOKYO KEIKI INC. All Rights Reserved